

# ともに学び ともにつくる

ASK-NET

We at ASK-NET do not merely give water and sunshine;  
Instead, we connect you to "people" who can be your water and sunshine.  
We create the "ground" from which water and light are available.  
We enable you to spread your leaves into the sky,  
and help you put down strong roots.



# 子どもと大人が共に学び、 共につくる社会を目指して

アスクネットでは、  
子どもたちの「出会いと挑戦」を応援してきました。

たくさんの大人と対話する、様々な職業を体験する、あらゆる社会課題について考える。子どもたちの成長と探究心を高めるきっかけをつくり、主体的な18歳を送り出す仕組みづくりと実現に取り組んできました。

私たちが次に目指すのは  
「共に学び、共につくる社会」です。

豊かな社会をつくるためには、年齢も立場も関係なく、同じ社会で生きる子どもと大人が、未来について共に考えることが大切なだと考えています。

「出会いと挑戦」で、  
主体性を持つ子どもたちが増える。

自分の意見をしっかりと持った彼らと経験豊富な大人たちが、よりよい社会をつくるために知恵を出しあい、解決策を見出していく。このサイクルを繰り返していけば、社会全体がより豊かになると私たちは信じています。

教えることは、学ぶこと。

学ぶことは、生きること。

よりよい社会をつくるために、生きる人すべてが、考え、学び、挑戦できるきっかけをつくりていきたい。子どもと大人が「共に学び、共につくる社会」を目指して。アスクネットはこれからも学びあいの輪を広げていきます。

代表理事 山本 和男

## VISION。MISSION

この法人は、地域の学校・市民・企業・行政・各種団体などと協力して、互いが学びあい育ちあう共同体づくりを進める。  
そこでの出会いをきっかけとして、人々とりわけ子どもたちが夢や目標をもって挑戦し、その中で成長していく学習を創造する。  
これらの多様な「出会い」と「挑戦」の機会を通じて、自らの人生を主体的に切り拓き、社会をよりよくしていく主体者へと成長する過程を支援することで、誰もが心豊かに暮らせる社会を実現し、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。

## WHAT WE DO

### 市民講師ナビ事業

実際に社会で働く人に自分の経験や考えを共有してもらう職業講話や、仕事を通じた社会課題解決をテーマとした探究的な講座を実施しています。プログラムをより効果的にするために、ニーズに合わせたプログラムの企画や、年間を通した授業カリキュラムの設計なども行っています。

### 教育CSR事業

アイシングループと協働で「アイシン環境学習プログラム」を実施しています。小学4~6年生を対象に、約半年間のプログラムを実施。森・水辺・暮らし・産業の4つのテーマをもとに座学やフィールドワーク、ワークショップ、エコ実践、学習発表会を通してより深い理解につなげます。

### 学習支援事業

生活困窮世帯や外国にルーツを持つ児童・生徒を対象に、学習のサポートやキャリア教育講座を行っています。ソーシャルワーカーには大学生を中心に過去に学習支援を受けていた社会人も参加しており、「支援される側」から「支援する側」への循環も生まれています。

### キャリア教育コーディネーター育成事業

学校や児童・生徒の状況を理解し、効果的なプログラムを提供できる仲間を増やすため、キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会との連携の下、キャリア教育コーディネーター育成講座を実施しています。

### 出会いと挑戦の教育普及啓発事業

その他、学校や自治体などさまざまなセクターとつながり、子どもたちを含めた全ての人々の「出会い」と「挑戦」の場をつくり、提供するためのプログラムを開発、実施しています。

# HISTORY

| 沿革

1999年	アスクネット活動開始
2001年	法人化・市民講師ナビ事業開始(毎年開催)
2004年	文部科学省 地域子ども教室推進事業(安城まちの学校) 第1回コーディネーターフォーラム開催
2006年	教育CSR事業「アイシン環境学習プログラム」開始
2009年	経済産業省 キャリア教育民間コーディネーター育成・評価システム開発事業(研修プログラム作成・実証事業)
2010年	高校生公募型インターンシップ「マイチャレンジインターンシップ」開始
2011年	キャリア教育コーディネーター資格化
2015年	生活困窮者自立支援法による子どもの学習支援事業開始
2017年	中期ビジョン2017-2021スタート
2018年	● 教育関係者向け研修「ENGINE」開始 次世代リーダー育成プログラム「アスキミキャンプ」開始
2019年	● 私立高校探究プログラム 開始
2020年	● 高校生探究プログラム「SPIRAL」開始 外国にルーツを持つ児童・生徒を対象とした学習支援開始
2021年	● 名古屋市子ども会アシストバンク事業開始 ● 新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動を失った子どもたちへの支援プロジェクト実施 認定NPO法人取得

# 2017-2021 ACHIEVEMENT

| 業績

## 主体的に考え行動できる18歳を社会に送り出す仕組みをつくる

キャリア教育コーディネーターをはじめ、社会人講師、インターンシップの受け入れ先、更にはSPIRALにおけるアドバイザーや外部コーディネーターなど、学校内外での活動においてこれまで以上に主体的な18歳を育む地域人材である「耕し人」を創出するための取り組みを進めてきました。

## キャリア教育コーディネーター 50名による教育支援

学校と実際に働く人を繋げ、子どもたちの考える力、行動する力を養う場を提供するキャリア教育コーディネーターの需要が高まる昨今。アスクネット主催のキャリア教育コーディネーター育成講座に参加された方50名が、キャリア教育コーディネーター認定試験に合格されました。

## 教員100人のネットワーク

子どもたちにキャリア教育プログラムを通じて「学ぶこと」「働くこと」「生きること」を考えもらうためには、学校との連携が重要です。アスクネットのキャリア教育コーディネーターは、総勢223名の教員の皆様と相互関係を築き、より多くの子どもたちにアプローチできるよう活動しています。

## 1000の企業・団体 / 50の自治体 1000の個人の巻き込み

保護者や学校の先生以外の「大人」と触れあう機会が少ない子どもたちが、より多くの「大人」や「働く人」と触れあう機会をつくるため、1819の企業・団体、27の自治体、1265名の個人に協力していただいている。

## 取り組んだ事業

### 主体的・対話的で深い学びの定着

- 私立高校での探究プログラムの実施
- SPIRALの実施  
自分のテーマに沿った「2030年の未来」を描く5か月間の探究プログラム
- 探究サミットの開催  
高等学校の「総合的な探究の時間」の授業をより発展させていくために、教育関係者向けに高校生の変容を伝える場をつくり、さらに発表生徒との交流が図れるイベント
- オンラインユースセンターの実施  
「すべての子どもたちに学びの場の多様性を」を合言葉に、多様な仲間との交流、多様な大人との出会い、多様な体験の機会、多様な挑戦の可能性で溢れるユースセンターを創り出す新たなチャレンジ

### 多様な人たちとの交流と挑戦の機会の定着

- ENGINEの実施  
多様な人々が教育に関心を持ち“耕し人”となり、大人も子どもも先生も社会総がかりで教育をつくるきっかけを提供するイベント
- オンラインユースセンターの実施  
「すべての子どもたちに学びの場の多様性を」を合言葉に、多様な仲間との交流、多様な大人との出会い、多様な体験の機会、多様な挑戦の可能性で溢れるユースセンターを創り出す新たなチャレンジ

### 子どもたちを地域で育む社会の実現

- 特定非営利活動法人まなびサポート大府立ち上げ支援
- 名古屋市子ども会アシストバンク事業開始(名古屋市委託事業)
- 新型コロナウイルス感染症の影響で体験活動を失った子どもたちへの支援プロジェクトをクラウドファンディングにて実施
- 愛知サマーセミナーに実行委員会として参画  
30年以上続く地元市民と学校が結びついた市民参加型セミナー



# 2030 VISION

| ビジョン

## 『若者がリードし、誰もが参画できる共創社会』を目指して

### MISSION

| 目標・取組むこと

1 すべてのセクターの学びのOSを更新する

2 学校と地域をつなぎ、変革を促進する  
キャリア教育コーディネーターの育成

3 主体的な18歳の育成モデルの進化と  
誰一人取り残さない社会づくりへの取組み

2017年度より「2022年までに主体的な18歳を社会に送り出す仕組みづくりとその実現に向けた活動をする」を中期ビジョンとして掲げ、取り組んで参りました。その中期ビジョンを発展・進化させるため、より多くの子どもたちに広げられるようにするために、新たに「2030ビジョン」を掲げます。その実現に向けて、3つの大きな柱(ミッション)を決めました。アスクネットの活動が、学びに対する人々の意識・行動変容を促し、社会全体に変革をもたらす一助となるよう邁進していきたいと思います。

# CROSS TALK



今井光代

いまい みよ 子育て支援や児童デイサービスの保育士の傍ら、環境についての講座や小・中・高校生向けの環境学習プログラムなどを実施。アスクネット市民講師だけではなく、なごや環境サポートー、愛知県、一宮市の環境学習講師としても活躍中。



加納誠司

かのう せいじ 愛知教育大学教授。2016年より「愛・シンフォニーコース」(教員研修)の講評者としてアイシン環境プログラムに参加。



今井安隆

いまい やすたか 株式会社アイシン総務部社会貢献推進室にてアイシン環境学習を担当。アイシン環境学習プログラムに講師として参加することも。



山地佳奈

やまじ かな NPO法人アスクネットコーディネーター。2018年度より、アイシン環境学習プログラムを担当。「環境学習」という切り口から、この先どう生きていきたいかを考えるきっかけをつくりたいと考えている。

## アイシン環境学習プログラム

アイシングループのCSR活動としてはじまった「アイシン環境学習プログラム」。2006年の開始以来、15年以上にわたり子どもたちに環境の大切さについて伝えてきました。今回はコアメンバーの方々に集まっていただき、「心を動かす教育」について語っていただきました。

## 子どもだけでなく、大人も心動かされるプログラムをもっと広げたい。

**加納** 私はもともと「環境学習をするなら実際に自然と触れあうフィールド学習が最も効果的」と考えていたんですが、アイシン環境学習プログラムに関わる中で、体験学習以外にも効果的な方法があると思うようになりました。「愛・シンフォニーコース」の中で、教員同士でシンパシーゲームをやってみると、次第に全員のめり込んでいくんです。カードゲームを通じた学習で、大人がこんなにも心動かされるなら、子どもたちへの影響は計り知れないものになるのでしょうね。

**山地** 実際、シンパシーゲームを体験した子どもたちの中には、人間役の罪悪感から泣き出してしまうったり、動物役として参加してゲームの内容に納得ができなくて怒り出してしまう子もいます。

**今井(光)** 環境や社会について深く理解してもらうために最適なゲームだと思います。ゲームを通して環境や社会に対する共感や理解を促した後、エコアクションで実践し、エコトークセッションで言語化していくことで、環境や社会について当事者意識を育むことができると思っています。

**加納** エコトークセッションでは、子どもたち自身が自分の意見を発表するために様々な資料を調べたり、数字や意見をまとめる作業をします。環境学習を通して社会科や理科、国語や算数など他の教科で学んだスキルを發揮できる場としても期待できます。

**今井(安)** 今は愛知県内の小学校を中心に、アイシングループのリソースが割ける範囲でプログラムを実施しています。なかなか成果が可視化されにくい取り組みではありますが、アスクネットや講師の皆様、学校現場と協力してプラスアップし、もっと多くの方に体験してほしいと感じます。

成果が可視化されにくい取り組みではありますが、アスクネットや講師の皆様、学校現場と協力してプラスアップし、もっと多くの方に体験してほしいと感じます。

**加納** CSRや教育事業の推進を目指す企業や団体と学校現場がつながるために、アスクネットはなくてはならない存在です。日々の業務の合間に児童の心を動かし、行動を促す企画を立て実行することは、教員の力だけでは困難ですから。

**今井(光)** 環境について何かできることをしたいと考えていた「普通のおばさん」を講師にしてくれる団体はそうありません。アスクネットを通じて、企業や学校現場、そして子どもたちへ向けた活動と一緒に続けていきたいですね。



座学

初回の講座では座学、もしくは体験によって環境について学びます。ゲームやワークショップを通して学ぶことで、子どもたちが環境について興味を持つきっかけをつくります。



愛・シンパシーワークショップ

愛・シンパシーワークショップで行われる「シンパシーゲーム」。動物役と人間役に分かれて行うゲームを通して、普段の生活や社会が地球環境とどうつながるのか学ぶことができます。



エコアクション

これまでの環境学習で学んだことや感じたことをまとめ、発表します。子どもたちは調べた内容をグラフや表にまとめて整理するなど、他教科で学んだことを活かしながら発表しています。



エコトークセッション

環境学習を通して学んだことや調べたことをまとめ、発表します。子どもたちは調べた内容をグラフや表にまとめて整理するなど、他教科で学んだことを活かしながら発表しています。

## 愛知万博でアスクネットと出会い、アイシン環境学習プログラムが生まれた。

**山地** 環境について子どもたちに伝えたいことがある人や企業はたくさんあるけれど、実際の教育の現場とのコネクションを得るのは簡単ではないですよね。

**今井(安)** アイシングループでは「自然・環境保護」「青少年育成」「まちづくり」の3本柱を社会貢献活動の軸としてさまざまな活動を行ってきました。その中でも「青少年育成」の活動が活発になったのは、愛知万博で行われたエコトークセッションに参加し、アスクネットとのつながりができるからです。ワークショップを企画するにあたって必要なノウハウ

や講師、学校とのつながりをアスクネットが提供してくれたことで、「アイシン環境学習プログラム」を始めることができました。

**加納** 学校現場としても、環境学習の必要性を感じていても企業とコネクションを得られない、効果的な指導方法がわからないという状況は珍しくありません。私はアスクネットからの依頼でアイシン環境学習プログラムを実施する教員向けの研修「愛・シンフォニーコース」を担当していますが、全体を通してとても完成度が高い環境学習プログラムだと感じています。今井(光)さんは企画

段階からこちらのプログラムに関わっておられたんですよね?

**今井(光)** 環境についてのワークショップを実施するとき、ロールプレイング方式のプログラムなどが一般的でした。しかし実際には、参加者が与えられた役割をただ「こなす」だけのプログラムになってしまい、より深い理解と共感を得ることが難しかったんです。そこで、アイシン環境学習プログラムの内容を企画するワーキングメンバーで知恵を出しあい、「愛・シンパシーワークショップ」を含めた全4ステップの学習プログラムができたんです。

# CROSS TALK

## 子どもたちの進路選択と「大人」との関わり方

子どもたちに自身の経験を伝える社会人講師、高校時代に参加したインターンシップで一足先に大人を体験した社会人、多くの大人と出会い探究力を身につけた高校生。アスクネットと関わり人生が変わった3名に「出会いの大切さ」について語っていただきました。



森哲也

もりてつや テムスト森代表。企業や社会人向けの研修やコンサルティング事業、学校でのキャリア教育講習を行っている。2007年から社会人講師としてアスクネットのプログラムに参加。



星杏奈

ほしゃんな 高校3年生の時にアスクネット主催の高校生向けインターンシップ「マイチャレンジインターンシップ」に参加。看護系への進学が決定していた中で畠山のIT系企業でインターンシップを経験。現在は名古屋市内の病院で看護師として勤務。その傍らでアスクネットのイベントにも協力している。



ルイス・カウアン

ルイス・カウアン 現役高校3年生(取材当時)。アスクネット運営の学習支援に中学1年から参加。高校卒業後の就職先に内定後もアスクネット主催の公募型探究学習プログラム「SPIRAL」に参加している。



檀谷彩乃

くしゃあやの NPO法人アスクネットキャリア教育コーディネーター。医療機関や飲料メーカー、専門学校などさまざまな業種を経験し、「自分のやりたいことや大切にしたいこと」がわからず悩む学生を見てきた経験からキャリア教育コーディネーターの道へ。

## 大人との接点を持つことで、子どもたちの未来が広がっていく。

森 アスクネットと出会ってからもう10年以上経ちます。自分の経験を子どもたちに伝える機会が得られたことで、少しでも彼らの成長を手助けできていると感じています。自分のキャリアについて考える年齢が若いほどキャリア選択に自信が持てる傾向があるというデータも発表されており、子どもたちに早い段階から将来の具体的なイメージを持ってもらうために、大人はどのように関わっていくべきか考えていく必要があります。

檀谷 社会人講師の講話で多様な大人の経験や考えを聞いたり、インターンシップに参加をしたり、イベントで大人と関わることは、子どもたちのキャリア形成に大きな影響を与えていました。たった一人の講師との出会いがきっかけで、一歩踏み出す勇気がでたり、未来の選択肢が広がったりする子どもたちがいるんですよ。

星 アスクネット主催のマイチャレンジイン

ターンシップを経験するまでは、大人といえば自分や友達の親、先生など、限られた人たちしかいませんでした。自分は看護師になると決めていたものの、社会人としてのマナーや、組織の中での立ち回り方などについて考える機会は、それまでの生活の中になかったです。だから、インターンシップではIT系企業のプログラムに参加しました。「ITって面白そうで興味がある」という単純な理由で参加しましたが、本格的に看護の世界に入る前に全く違う業界の人と接する機会があったことで、自分を振り返り、仕事について考えることができました。今まで関わったことがなかった人たちと接することで視野を広げられた体験は、社会人になつた今でも心に強く残っています。

森 自分をはじめとした大人の経験を聞くことをきっかけに、子どもたちが自発的に考え方行動に移してくれるのはとても嬉しいですね。

星 アスクネットで社会人講師をされる方は、みなさん自分の仕事に自信と誇りを持って邁進されています。学生のうちに「信念を持って行動している」大人の経験や考えに触れることで、自分の進路やキャリアについて考えるきっかけにもなりますね。

## 多様な価値観に触れて生まれた「好奇心」がキャリア形成を後押しする。

ルイス 僕はもともと高校卒業後は大学進学を考えていたのですが、高校の先生とのやりとりをきっかけに「食の大切さ」に気づいたんです。自分を形づくり、日々のエネルギーになる食べ物はどのように生産され、食卓に並ぶのか知りたいと思いました。調べていくうちに養豚業で働きたいと思うようになり、進学から就職へと進路を変更しました。畜産の知識は全くなかったので、高校の先生に協力してもらって農業高校の先生にお話を伺ったり、あちこちの養豚場へ見学に行ったりしました。その結果、無事、養豚場への就職が決まりました。興味を持ち、

行動につなげることができたのはアスクネットでの経験があったからです。知らなかったことを知ろうとすることは楽しいし、それが自分の未来にもつながったと思います。

檀谷 さまざまな大人と関わり、それぞれの経験や価値観に触れたことで、自らの進路を切り拓いたいモデルケースですね。

星 私ももっと早くアスクネットに出会えていたら、また違った人生を歩んでいたのかもしれません。

森 今の子どもたちが自分の考えを持ち、主体的に行動していく大人になるために

は、保護者や先生だけでなく、より多くの大人との関わりが重要です。子どもたちが自分の未来を切り拓く力を持つためには、大人が自分の道を切り拓く姿を見せていかなければなりません。このことをアスクネットとの活動を通して、子どもたちだけでなく、学校現場の先生などの大人にも伝えていきたいですね。

檀谷 森さんのおっしゃるとおり、教育は一方通行ではなく、双方向な学びあいだと思います。大人と子どもが接点を持ち、お互いを知ることで成長しあえる。アスクネットは常に双方の架け橋でありたいと思います。



星杏奈さん

マイチャレンジインターンシップに参加した時の様子。他の参加者と一緒にゲームのプログラミング体験をしました。



ルイス・カウアンさん

様々な社会課題の解決策を考える、高校生向け探究プログラム「SPIRAL」の様子。就職内定後の時間を使って参加してくれました。



森哲也さん

講話を聞いた子どもたちの感想文には全て目を通し、コメントを返すそうです。一人ひとりと真正面から向きあいます。



# INVOLVEMENT

「関わり方

## 「出会いと挑戦の教育」へのさまざまな関わり方を用意しています。

社会で活躍するさまざまな大人との出会いが、子どもたちの挑戦の原動力。

学校・企業・市民などが連携する学び合いのコミュニティづくりに、ぜひご参加ください。

1

### 授業にプログラムを取り入れる



生徒の主体性を育むプロジェクト型学習の授業づくりと定着を支援します。

#### 【地域連携のプログラム開発】



年間を通して授業カリキュラムの設計をサポートします。地域の伝統工業や地場産業を子どもたちに伝えるなど、市民講師を活用したキャリア教育のプログラム開発や授業内容の作成を支援します。

#### 【体験的活動の事前事後指導】



インターンシップなどの受け入れ先の確保や事前・事後の指導などを行い、プログラムの導入をサポートします。社会で必要なマナー講座、ケーススタディ、体験活動の振り返りなどで、キャリア教育の効果を高めます。

#### 【導入実績例】

- ・探究プログラム
- ・インターンシップ
- ・事前事後指導
- ・教員研修
- ・PBLカリキュラム開発
- ・各種講座  
(理科実験、ものづくり、職業講話など)

2

### 教育CSRを導入する



自社の資源を活かした地域貢献を、企業活動のヒントを得る場として活用しませんか?

教育CSRは慈善活動であるだけでなく、企業自身も多くの学びを得られる機会です。企業イメージ・知名度の向上、社員が仕事に誇りをもつことによるモチベーションアップ、若者の斬新なアイデアや感覚に触れられるなどのメリットも得られます。



3

### 社会人講師として活動する

社会で培ってきた経験やスキルは、生徒にとって貴重な学びになります。

会社員、経営者、専門家、市民活動家など、さまざまな市民講師が活躍しています。

- ・「働く」や「キャリア」について子どもたちに伝える職業講話
- ・教科と連動した専門知識・能力を有した社会人講師による講座
- ・プレゼンテーション講座、コミュニケーション講座、マナー講座などのスキルアップ講座
- ・技術開発や伝統産業にまつわる講座



4

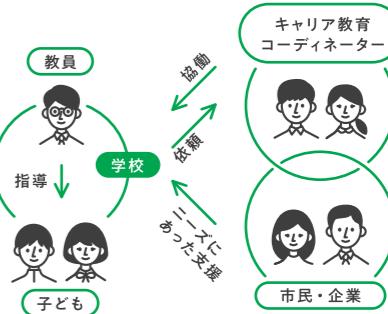
### キャリア教育コーディネーターになる



学校と地域のつなぎ役。

「子ども」「学び」「地域の大人」をつなぎ、  
地域を元気にする人材を育成します。

学校と地域をつなぎ、子どもたちに学びの場を提供する専門家を「キャリア教育コーディネーター」といいます。社会人講師や企業とのネットワークを形成し、教員と共に学びのねらいを考えた上で、効果的なプログラムを学校に提供します。アスクネットでは、キャリア教育の質向上に寄与する人材を養成する「キャリア教育コーディネーター育成講座」を開講しています。



5

5

### イベントに参加する



教育に関心を持つ方が「つながりあい、一步踏み出す」場を提供します。

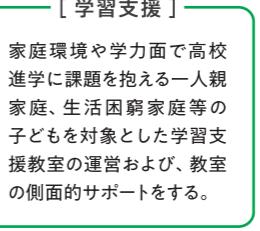


主体的な18歳を社会に送り出すためには、地域で子どもたちを育む存在が必要です。「教育Reformセッション“ENGINE”」では、地域の大人が教育に関わる機会を創出し、子どもたちを育む「耕し人」になっていただくための、教育の価値観を更新していく教育関係者向けイベントです。

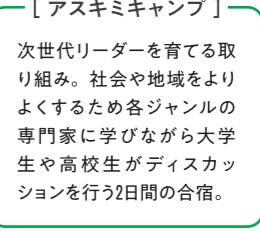


6

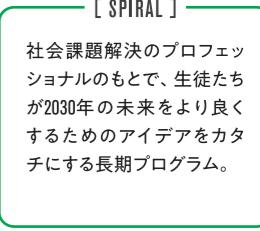
### 子どもたちをサポートする



【学習支援】  
家庭環境や学力面で高校進学に課題を抱える一人親家庭、生活困窮家庭等の子どもを対象とした学習支援教室の運営および、教室の側面的サポートをする。



【アスキミキャンプ】  
次世代リーダーを育てる取り組み。社会や地域をよりよくするため各ジャンルの子どもを対象とした学習支援教室の運営および、教室の側面的サポートをする。



【SPIRAL】  
社会課題解決のプロフェッショナルのもとで、生徒たちが2030年の未来をより良くするためのアイデアをカタチにする長期プログラム。

7

### 会員になる・寄付をして応援する・ボランティアをする



アスクネットの目的にご賛同いただけましたら、  
会員のご登録をお願いいたします。

- [正会員]** 年会費：1口 6,000円（一般）/ 1口 3,000円（学生）/ 1口 50,000円（企業・団体）  
※年1回開催される会員総会での議決権あり
- [賛助会員]** 年会費：1口 3,000円（一般）/ 1口 50,000円（企業・団体）
- [会員特典]** 会報「アスクネットニュース」を年4回お送りします。

**[お振込先]**  
銀行名 / 三菱UFJ銀行 金山支店  
口座番号 / 普通 3711689  
口座名義 / 特定非営利活動法人 アスクネット

**[郵便振替]**  
口座番号 / 00860-5-40912  
加入者名 / 特定非営利活動法人 アスクネット

**[クレジット決済]**  
アスクネットHPからお申し込みください





ASK-NET

特定非営利活動法人アスクネット(ASK-NET)

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町8-5 愛知私学会館東館3階

設立: 1999年6月 (2001年10月法人格取得)

法人化: 2001年4月

TEL: 052-881-4349  
FAX: 052-881-5567  
MAIL: info@asknet.org  
<https://asknet.org/>

[コンタクトフォーム]  
<https://asknet.org/inquiry>

